

令和 7 年 度
宮崎国際大学 国際教養学部
一般推薦Ⅱ期

試 験 問 題
【小 論 文】

受 験 番 号
氏 名

立命館アジア太平洋大学の学長である 出口 治明^{でぐち ちはるあき}さんは、「自分の頭で自由に考えられる人」になるためには、自分の中にある「アンコンシャス・バイアス」（無意識の偏見）を克服しなければならず、そのためには、「人・本・旅」を通して学ぶことが大切だと述べています。

出口さんが書いた「人」「本」「旅」の中から、あなたが最も大切だと思うものを1つ選び、その内容を要約しなさい。また、「自分の頭で自由に考えられる人」になるために、あなたはこれからどのようなことをしていきたいですか。合わせて600字以内で述べなさい。

「人」

たくさんの人と出会い、多くの考え方や価値観、文化に触れることです。多様性に触れることで、自分の幅も広がっていきます。

人間は、他人から学ぶ生き物です。自分とはちがうタイプの人と触れあい、考えを吸収することで、多くの刺激と学びを得られます。その中できっと、自分で思ってもいなかったアンコンシャス・バイアスにも気づくでしょう。反省することも、膝を打つこともあるでしょう。そうした経験があなたを、より知的でより豊かな人間にしていくはずです。人から学び、影響を受け、世界を広げることができるのです。

似たような考え方、価値観、経済力を持った人々が集まっている場（同質集団）は、たのしく快適ではありますが、刺激や学びはあまり多くありません。こうした集団では、アンコンシャス・バイアスがより強化されてしまう傾向にあります。「よい」と思うもの、「悪い」と思うものといったさまざまな価値観が似通ってくるからです。

だからこそバイアスを外し、考える力をつけるためには、意識して「いつもと違う人」と会う必要があるのです。学校や会社を飛び出し、「自分とは違う『当たり前』を持っている人」とコミュニケーションを取る努力をする、その姿勢が大切です。

「本」

僕がこれまでの75年間で学んだことの総量を100とすると、50は本から得てきたと自負しています（残りは「人」「旅」で25ずつです）。物心ついてから本を開かなかった日は一日たりともありませんし、いままで1万冊以上の本に親しんできました。

本は、先人の知恵の結晶です。ダーウィンやプラトン、ニーチェといった、教科書に載るような頭のいい人——それも世界中の、あらゆる時代を生きた——の話を家にいながらにしてマンツーマンで聞くことができる。自分の人生だけでは知り得なかった知を与えてもらえる。それが読書の醍醐味です。

知恵の結晶である本に触れてさえいれば、仮にいま生きている社会でアンコンシャス・バイアスを植え付けられたとしても、ひどく凝り固まった人間にはならないと僕は思っている。

ます。だって、本を開けば、たとえば古代ギリシャの考え方に触れ、中世の宗教観を学び、遠い異国の歴史や制度を知り、異なる文化で暮らす人の機微に触れることができるわけでしょう。

知らなかったことを知り、新しい考えに触れ、世界が広がっていく感覚を得られる。自分がいかにもものを知らなかったか、狭い世界で生きているのか、思い知らされる。どう考えても賢くなると思いませんか？

「旅」

「旅」と聞くと、まず修学旅行や家族旅行といったレジャーを思い浮かべるかもしれませんが。しかし僕が考える「旅」は、「自分の足で現場に行くこと」全般を意味します。自分の足で移動して、自分の目でものごとを見て、経験する——これが、旅の本質です。

たとえばみなさんがテレビを見ていて、家から少し離れた街においしいパン屋さんがあることを知りました。このときどれだけレポーターが詳しく説明しても、おいしそうな断面図がズームアップされても、味の想像には限界があります。足を運び、店に入り、香りを吸い込み、おいしさを体験しなければその真髄は理解できません。でも足を運べば、それが体験になり、知識となり、血肉となる。つまり、隣町のパン屋さんに足を運ぶことも、立派な旅なのです。

いまはインターネットで、世界中の情報をいくらでも仕入れることができます。「YouTube でリアルな映像を見ることができるから、海外に行く必要はない」と考える人も少なくないと聞きました。しかし、その意見に僕は反対です。教科書に掲載されているピカソの作品を眺めるのと、実際にスペインで「ゲルニカ^{*}」を見るのでは、作品から受け取るメッセージはまったく違います。万里の長城をテレビで見ると実際にその上に立つのでは、得られる情報量は段違いです。

自分を揺るがし、成長させる刺激は、現場でしか体験できないのです。

※ ゲルニカ … スペインの画家パブロ・ピカソが、ドイツ空軍による無差別爆撃を題材として描いた作品。

(出口治明『働く君に伝えたい「考える」の始め方』による・一部省略がある)